

レーザートーニング同意書

妊娠中・授乳中は不可

□肝斑とは

ホルモンバランスの影響で、頬に炎症後の色素沈着が生じやすい状態、とされています。従って、通常のシミよりレーザーでは炎症がおきるので、かえって色が濃くなります。

□レーザートーニングとは（全顔 12,000円 税抜、小範囲 10,000円 税抜）

レーザーは、黒い色に反応して黒い組織を破壊します。このとき生じる炎症を最小限にするため、レーザーの出力を極力下げて照射します。炎症が少ないので、かさぶたにもなりません。照射された黒い組織は、皮膚の下で細かく破碎され、吸収されると考えられています。また、肝斑だけでなく照射部分全体のトーンが明るくなり、レーザーによる刺激で、真皮コラーゲンの産生が促進され、ハリがでます。

※禁忌；金製剤、金の糸等の金が体内に入っている場合はできません。

□レーザー照射までの流れ

1. レーザーの適応があるか判断します。
2. レーザーを照射します。レーザーは、パチンとゴムで軽くたたかれるような痛みです。

□照射方法

顔面の左右交互に、まんべんなくパラパラとレーザーをあてていきます。片方を照射しているときは、保冷剤でもう片方を冷やし、炎症を起こさないようにします。これを往復5回繰返し終了します。その後パウダールームにて日焼け止めを塗ります。その他、通常通りお化粧品をしていただいて問題ありません。

同様に、1、2週間に1回照射し、5～7回で色素が薄くなってきます。さらに照射する場合は、再照射開始まで1ヶ月以上間隔をあけます。

□トランサミンの併用

内服薬のトランサミン・ビタミンC・ビタミンE(各 33日分 1,500円 税抜、合計 4,500円 税抜)は、必ず併用します。

□レーザー後の経過

1. 当日；弱い炎症でやや赤くなり、少しだけ腫れ、痒くなることもあります。
2. その後；数日で炎症は治まります。

□効果および、再発の可能性について

レーザートーニングは、色素を少しずつ除去していくので、完全に消失するというよりは薄くなる、という経過になります。また、肝斑の成因上、完全に消失したとしても再発する可能性があります。

～レーザー後のアフターケア～

翌日以降；必ず日焼け止めを使用して下さい。その他、通常通りのスキンケア、お化粧品で問題ありません。

◆何か気になる事がありましたら、すぐに再診して下さい。当クリニックの診療時間外の場合は、お近くの救急外来に電話をかけ、受診して下さい。

上記内容について、同意します。

日付； 年 月 日

ご署名；